

地質情報展 2025 くまもと

体験・実験コーナー「鳴り砂」

兼子 尚知¹・中村 由美¹

1. はじめに

2025(令和7)年9月13日(土)から15日(月・祝)にかけて、熊本城ホール(熊本県熊本市)において、「地質情報展 2025 くまもと 一火の国・水の国! 大地のふしぎ」が開催されました。「地質を楽しく学ぶ! ~体験・実験コーナー~」で、「鳴り砂」の体験ブースを運営しました。地質情報展での鳴り砂ブースの開設は、昨年度の山形市に続き、通算で18回目となりました(兼子・芝原, 2013; 兼子, 2014, 2024; 兼子・齋藤, 2025)。

2. 鳴り砂の実験

「鳴り砂(鳴き砂)」とは、「キュッ!キュッ!」と音が出る砂のことです。鳴り砂の砂浜を歩くと、足もとからこちよい音が響いてきます。音を奏でる鳴り砂の特徴として、1. 砂の構成粒子の中で石英の比率が高いこと、2. 清浄な海水と適度な強度の波浪によって、砂の表面が洗浄・研磨されているためにとってもきれいなこと(異物が付着していないこと)が挙げられます。また、波浪によって磨かれる間に、粒径が揃った砂になっています。このような特徴を有し、音を奏でる鳴り砂は特別な砂であり、鳴り砂の砂浜は自然環境が健全に保たれていることの証でもあります。日本には多くの鳴り砂の浜がありますが、今回は島根県大田市の^{ことがはま}琴ヶ浜の鳴り砂を使って、ワイングラスに入れた鳴り砂をすりこぎ棒で突いて鳴らす体験をしていただきました。また、鳴り砂の解説パネルと全国の鳴り砂マップを掲示し、鳴り砂が鳴る理由や国内の分布状況を説明しました。

体験した方々は、砂が音を発することに驚くとともに、その音に聞き入って何度も鳴らしたり、それぞれに楽しんでくださいました(第1図)。最終日には熊本県PRキャラクター「くまモン」が来場し、鳴り砂を体験していただきました(第2図)。期間中、体験に使用した砂をおみやげとしてさしあげたところ、初日138人、2日目140人、最終日



第1図 ワイングラスに入れた鳴り砂を棒で突いて音を聞く来場者。

309人(延べ587人)の方々が鳴り砂をお持ち帰りになりました。

3. おわりに

期間中、熊本大学の梅田惇弘氏には、学生アルバイトとして本ブースの運営を手伝っていただきました。実験に使用した鳴り砂を提供してくださった島根県大田市の馬路町社会教育振興会会長・松浦 裕氏、地質情報展の準備・運営に係わった多くのみなさまに、篤くお礼申しあげます。

¹ 産総研 地質調査総合センター地質情報基盤センター

キーワード：鳴り砂、琴ヶ浜、地質情報展、熊本、くまもと、体験、実験



©2010 熊本県くまモン 2025/9/15

第2図 鳴り砂を体験するくまモン。

文 献

兼子尚知(2014)地質情報展 2013 みやぎ体験コーナー
“自然の不思議「鳴り砂」”. GSJ地質ニュース, 3,
16-17.

兼子尚知(2024)地質情報展 2023 きょうと 体験・実験
コーナー「鳴り砂」. GSJ地質ニュース, 13, 48-49.

兼子尚知・齋藤直輝(2025)地質情報展 2024 やまがた
体験・実験コーナー「鳴り砂」. GSJ地質ニュース,
14, 91-92.

兼子尚知・芝原暁彦(2013)地質情報展 2012 おおさか体
験コーナー「自然の不思議:鳴り砂」. GSJ地質ニュー
ス, 2, 149.

KANEKO Naotomo and NAKAMURA Yumi (2026) Expe-
rience of singing sand, in Geoscience Exhibition in Kuma-
moto 2025.

(受付：2025年11月25日)